



社会医療法人
同仁会
Dojinkai
Social Medical Corporation

私たちの理念「一視同仁」

同仁会報みみはら

2018年7月1日発行

第69号



発行 社会医療法人同仁会 同仁会報編集委員会 〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
TEL 072(244)7260 FAX 072(247)0165 URL http://www.mimihara.or.jp (同仁会HP)

核兵器禁止条約をひろめ ヒバクシャ署名を進めよう さらに

ノーベル平和賞受賞ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)国際運営委員
国際NGOピースポート共同代表 川崎哲さんを迎えて講演会

6月7日、耳原総合病院みみはらホールで、昨年ノーベル平和賞を受賞したICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン)の国際運営委員を務めておられる、川崎哲さんの講演会が開かれました。職員、地域住民の方合わせて226人(職員119人、友の会87人、賛同者、一般参加20人)が集まり、大盛況でした。

奥村伸二院長と川崎哲氏



平和をつなぐリレートークから始まり、鳳クリニック・OCANから、被爆体験などを語り継ぐための運動を続けていくことが報告され、社会福祉法人コスモス、老健みみはら、労組からも取り組みや決意が報告されました。続いて川崎さんが登壇され、ICANの成り立ちから国連での核兵器禁止条約決議、ノーベル賞受賞の様子を、映像でわかりやすく説明していただきました。また、企業や金融機関へのはたらきかけ等、現在の世界での活動について語られ、日本の立場、我々に何が出来るのかについて、わかりやすく説明されました。核兵器禁止条約の課題についても触れられ、条約の存在が知られていないということでした。



川崎 哲氏

北朝鮮の核問題については、北朝鮮の核問題は世界の核問題の1つに過ぎず、北朝鮮だけでなく全世界の核問題について視野を広げる必要があると話されました。今回の講演を聞き、核がいかに残酷なものであるかを再確認しました。世界の核廃絶に向けて、これまで民医連で取り組んできたヒバクシャ署名等の活動をさらに進

めていく必要があると感じ、自分ができることは何かを考える機会になりました。

(耳原鳳クリニック
ICAN講演会実行委員長
春川 智弘)



斉藤和則理事長が閉会あいさつ

こんにちは！ 同仁会グループ 事業所だより



2日目は来所した利用者さんの協力とデイサービスのスタッフ、老健スタッフ、法人スタッフの献身的な協力なくして実現しなかった事業です。尽力していただいた皆様に心より感謝致します。

(デイ泉北 吉永 憲)

老健みみはら1階に引っ越しました

約13年間泉北で事業を続けてきましたが、今年4月からの介護保険改正と今後の情勢への対応を踏まえて、老健みみはら1階に移転しました。利用者の方々、家族、事業所で働くスタッフが、なかなか移転後の状態が想像し難いなか、4月2日の移転初日を迎えました。初日は利用者、スタッフ共に表情も硬く、いつの間にか1日が終わりました。業務終了後、デイケアスタッフとも話し合い、デイサービスの席の移動やレイアウトを変更し2日目を迎えました。最後に3月下旬の引っ越し準備から、4月の新しい場所での事業開始へと続く中で、利用者さんの協力とデイサービスのスタッフ、老健スタッフ、法人スタッフの献身的な協力なくして実現しなかった事業です。尽力していただいた皆様に心より感謝致します。

耳原デイサービスセンター
ともうず泉北



〒593-8325
堺市西区鳳南町5-594-1
(老健みみはら内)
TEL 072-272-8050
FAX 072-272-8054